



発行所 福井県大野郡和泉村 下穴馬 912-02 中電 912-03

(昭和45年7月1日現在)

Table with population statistics: 村の人口, 出生, 死亡, 転入, 転出, 総人口, 男, 女, 世帯数.

村の面積 332.26平方km

今月の目標 今年も台風シーズンとなり... (1) 毎年の経験を生かして被害を最小限度に抑えよう (2) お互に協力して気配りあいなう (3) 台風情報に注意し十分な準備をしよう

無事故の誓い 一、飲酒運転は絶対いたしません 二、無免許運転は絶対いたしません 三、スピード違反を絶対いたしません 四、以上三つの事は絶対させません

和泉村議会議員

選良十三名決まる

任期満了に伴う、村議会議員選挙は七月五日に告示され、七月十二日五投票所において午前七時より午後六時(第二投票所午前六時三十分より午後五時三十分)まで投票が行なわれた。又開票事務を併せ行なう選挙会は午後八時より朝日小学校において行なわれ、午後十時半には各候補者の得票数が確定十三名の新議員が誕生した。

今後の村政に期待 千四百人が投票

(投票率 九四、五五%) 梅雨時にも似たどんより曇った投票日の朝は、四年間の村政に夢をかけ、立派な我が代表を議会に送ろうと、投票開始を待つて清き一票を投ずるなど選挙人の出足は良く、午前十一時の中開速報においては、五九、一六パーセントを占める約九百人が投票を済ませ

Table of candidates and their party affiliations: 田中善弘, 副島弘, 新井一雄, 谷口武雄, 北川正一, 藤沢平一, 宇野一雄, 三嶋利夫, 田村重次郎, 中山良正, 阿部三郎, 吉村外治.

午後一時現在においては、七一、五七パーセント、確定投票率九四、五五パーセントで前回の九一、五七パーセントを二、九八パーセント上回る好率となつた。又、各投票区ごとにその状況を見ると第四投票区(後野、伊月)の九八、七二パーセントを始め、第三投票区(下山)九六、四三パーセント、第二投票区(下大納、上大納)九四、六六、第一投票区九三、五五パーセント、五投票区(両前坂)の八九、四七パーセントの順となつている。一方、開票を併せ行なう選挙会は午前八時より朝日小学校において参観人数が見守る中で行なわれ、十時半過ぎには各候補者の得票数が確定し、村再建に伴う幾多の難問に對処すべき新議員が誕生した。

1. 投票状況

Table showing voting status: 当日の有権者数, 投票者数, 投票率. Includes data for 45th July and previous year.

2. 選挙結果

Table showing election results: 投票者総数, 投票総数, 差引過不足, 有効投票総数, 無効投票総数.

荒島トンネル貫通

記念すべき日

昭和四十五年七月九日

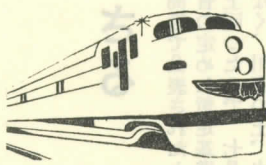
越美北線、荒島トンネル延長五キロ二六四メートル。この長さは国鉄のローカル線では全国一であり、又、国鉄全体からは全国で第六番目の長さです。昭和四十五年七月九日に貫通しました。当日の祝賀会場で、本村の村



貫通した荒島トンネル

長が挨拶の中で述べたとおり「荒島山こそは、大昔から和泉村を、大野地方から隔絶し、そのけわしさは九頭竜の急流と相俟つて数知れぬ程沢山の尊い人命を落したのであつて、今日その荒島の下に通路が開け

たということは、和泉村の夜明けとも言うべく「青の洞門」の開きにくく等しい感激を覚える」のであります。「山間僻地といわれる内、山村を解消することはできないが、僻地は緩和することができる」ということは吾々の信念でなければなりません。この荒島山の下にトンネルが貫通したことはその僻地緩和に大きな役割を果すものであります。勿論このトンネルも汽車が通じて始めて活用されるものでありますから、一日も早くその日の来ることを待つのですが、それにしても、このトンネルが貫通した昭和四十五年七月九日は、和泉村民の忘れられない日となりました。北陸トンネルが貫通した日、福井県全体が狂喜して祝つた事は吾々の記憶に新しいところであります。荒島トンネルの貫通は、県としての北陸トンネル貫通に匹敵する慶祝すべき事があるのではあります。



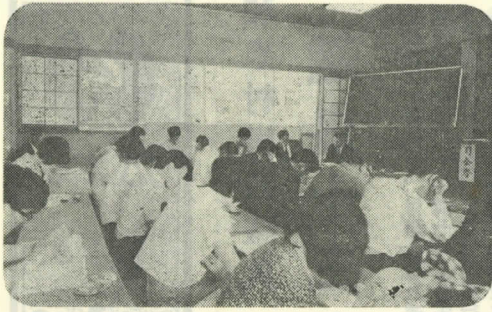
窓の役場

研究委嘱校の発表を終えて

学校給食と保健体育

格言に「健全なる精神は、健全なる身体にやどる。」といわれているとおり、体力がおとろえれば気力もおとろえる。科学技術の進歩と、激変する現在の社会に適応して立派に生きぬくためには、バランスのとれた強くて健康な体と健全なる強い意思の持主でなくてはならない。

福井県教育委員会から研究委嘱をうけた朝日小学校は「基礎体力をのばす指導はどのようにすればよいか」を主題とし、朝日中学校は「学校給食を効果的にこなすために給食時間をどのようにしたらよいか」「運動技能を伸ばしながら体力を高めるための効果的な体育指導はどのようにすればよいか」を主題として、両校とも二ヶ年の研究



を、特に朝日中学校においては学校給食連統四ヶ年間の研究発表となつた。当日は県教育委員会保健体育課から、

牧野課長、野坂、吉川、棟田三名の指導主事と橋本技師、大野市教育委員会から本田学校教育課長、田中、上田両指導主事、勝山市教育委員会から佐々木指導員、大野、勝山両氏の小、中学校の校長先生や諸先生多数参加されて七月八日午前八時から開会、指定授業

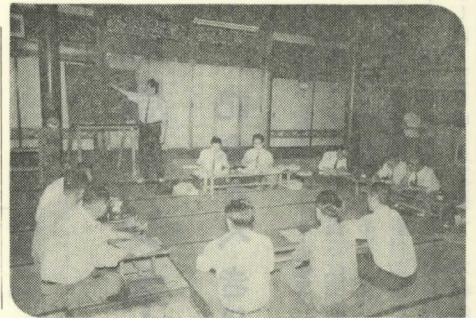
の公開、給食参観、午後は四時まで各科の研究会日程を順次終了、委嘱校教職員の研究成果をたたえ、その労苦をねぎらい今後のより充実を期待する講評をいただいた発表会の幕を閉じた。この日当村が誇る由緒ふかき無形文化財「昇竜太鼓」の演奏は参会者の絶讃を博し、本研究会に一段の光彩を添えていただいたことに深く感謝の意を表します。

人を助け自分も助ける

愛の採血車【いぶき号】来る

八月十日～十一日

医療に要する保存血液を確保するため、献血はきわめて貴重な存在であります。本年も九月一日（一ヶ月間）から始まる愛の血液助け合い運動に先立ち、来る八月十日、十一日の二日間、日赤福井県支部の医療衛生事業の一環として、愛の採血車「いぶき号」が本村に来る予定になっております。この献血のできる人は、年令満十六才以上六十五才未満の健康な人であれば出来ますので一人でも多く献血して下さい



赤十字社資目標額の完納

日赤県支部長から感謝状

全国一斉に五月一日から一ヶ月間、赤十字運動が展開されたが、本村の社資募集額は目標額の三三〇増額の十一万三千三十円に達し、日赤県支部へ完納することができました。

近年村民の赤十字に対する理解と信頼が高まりつつあり、日赤県支部長から赤十字運動実施にあたり、顕著な成果を挙げたことに対し感謝状が贈られた。また災害救護用として天幕（一張）が配分された。

社資募集額の内訳は次のとおりであり、社員、賛助員のご協力を深く感謝します。

(社員)	二百円以上	一八人	一八、八〇〇円
	二百円以上	一人	六〇〇円
(特別社員)	三百円以上	三人	八一、五〇〇円
	千円以上	一人	一、〇〇〇円
(賛助員)	百円以下	六人	一三〇円

公害カドミウム 住民検診実施さる

最近、全国各地においていろいろな公害問題が惹起し、新聞、テレビ等で毎日のように報道されていますが、この一般的に「公害」といわれるものは事業活動その他人の活動に伴なつて生ずる相当範囲にわたる水質の汚濁、大気汚染、騒音、振動、地盤の沈下、悪臭によつて、人の健康または生活環境（人の生活に密接な関係のある財産ならびに人の生活に密接な関係のある動物植物およびその生育環境を含む）に係る被害が生ずることをいいます。

移動保健所の開設

八月二十四日～二十五日

さわやかな気分毎日の仕事にいそしむ、そして長寿を？これが私達の願いであり、又ほんとうの幸福な姿ではないでしょうか。これには日常の健康管理が大切であります。家庭療法ですぐ治る病が放任されて不快な日々を送るようになったり、はては悪化して余病を起し大事に至る例があまりにも多く、いろいろの統計で示され警告されています。

最近、全国各地においていろいろな公害問題が惹起し、新聞、テレビ等で毎日のように報道されていますが、この一般的に「公害」といわれるものは事業活動その他人の活動に伴なつて生ずる相当範囲にわたる水質の汚濁、大気汚染、騒音、振動、地盤の沈下、悪臭によつて、人の健康または生活環境（人の生活に密接な関係のある財産ならびに人の生活に密接な関係のある動物植物およびその生育環境を含む）に係る被害が生ずることをいいます。

- 一、日時及び場所
 - 八月二十四日午前十時～午後三時 和泉村 診療所
 - 八月二十五日午前十時～午後三時 和泉村 中龍会館
- 二、実施内容
 - ①成人病健康診査（血圧測定検尿）
 - ②結核予防診査（レントゲン車による間接撮影）
 - ③胃部検診（検診車検診料五百円、六十五才以上の方は二百五十円）
 - ④老人は半額村費負担
 - ⑤環境食品衛生相談
 - ⑥栄養一般相談（キッチンカーによる栄養料理講習）
 - ⑦衛生教育
 - ⑧老人福祉法による老人検診

社会教育コーナー

社会体育のお知らせ

高志郡体 十月十八日に

昨年、一般男子の部、婦人の部、青年の部ともに優勝し、総合優勝に輝いた高志合同郡民体育の第二回は、十月十八日に決定した。したがって村民体育大会は、九月二十七日か十月四日に決まりそうである。

体力づくり キヤラバン隊来村

十月上旬に、総理府体力づくり事業協議会より派遣される予定

村スポーツ少年団主催 夏季大会のおしらせ

- 中学男子サッカー交換試合 七月五日 朝日中グラウンド
- 小学生ソフトボール大会 七月二十一日 朝日中グラウンド
- 小学中学生水泳大会 八月一日 朝日中プール

成人式は八月十五日に

恒例の成人式は、地域性の実情から種々検討され、各種団体や青年の意見を聞き、最終的に社会教育委員の会で決定されたものである。従来、四月初旬に実施されていたが、村外に就職や進学されている



青年が多く、土曜の午後と、日曜日だけでは帰宅しにくいという意見などから、ほとんどの青年が帰郷する旧盆の八月十五日に決定した。

大野郡市PTA

幹部研修会大納中で開催

激動し進展する社会に即応したPTAのありかた、豊かな人間性の育成をめざして研究討議をおこない、新しいPTA活動の推進に資する目的で実施されます。

日時 八月二十三日 午前九時より
場所 大納中学校
対象 単位PTA役員、幹部

大野市内から百名程参加されます。村内の単位PTAには人員の割当てがありませんが、せいぜいご参加下さい。

全国スポーツ少年大会に

大納中より参加

日本体育協会、本栖湖青少年センターで実施されます。第八回全国スポーツ少年大会に、福井県代表リリーター二十名中、本村より二名派遣されます。三年 田中 千鶴 十四才
三年 長尾 志津恵 十四才
の二人のお嬢さんが、七月二十五日より三十一日まで(六泊七日)大会に参加され、リリーターとして数々の研修訓練を受けてこられます。

体育指導委員決まる

スポーツ振興法十九条により、スポーツ振興のため村民に対し、社会体育の計画と実践、スポーツの実技指導や指導助言の任務を有します。三月で任期切れとなり、先般の教育委員会で承認され任命されました(任期は二年)

- 末永 秀一 川合
- 中内 孝利 朝日
- 河口 智次 上大納
- 宮腰 輝男 上大納
- 栗守 関次郎 後野

高志消防操法大会に活躍

消防団の消防操法技術の向上と士気の昂揚を図り、消防活動の確立を目的として、高志地区消防操法大会が去る七月三日美山町美山中学校々庭において、六チーム(足羽、美山、松岡、永平寺、上志比、和泉)が参加して開催された。

本村からは第三分団(下山)が可搬式小型動力ポンプ操法の部に出場し、日頃の訓練とチームワーク、消防精神を充分に発揮し優秀な成績をおさめた消防操法要員は次の通りである。
指揮者 森 忠雄 (副分団長)
要員 清水 一英 (団員)
要員 谷 秀明 (団員)
要員 東 治義 (団員)



要員 谷 幸男 (団員)
補欠 中村 憲治 (団員)

はづき (八月)



今年はずつとおしい長いつゆでようやく夏がおとずれたと思うと秋風が間近にきているような夏となりそうである。こんな年は人間の身体も変調をおこし勝て伝染病等の発生も多くなりそうである。これからの夏

No.29 ガンコオヤジ



から秋口へかけての日常生活にはお互いに充分注意したいものである。健康に関連して最近和泉村が新聞のトップ面に取上げられた。カドミウムの汚染による被害問題がある。県が再三調査し公明党議員さんの調査、社会党議員さんの調査、県会議員さんの調査と引続いて厚生省の調査と、非常に地域住民の健康管理で各方面の御配慮をいただけることは大変有難いことである。調査の都度新聞で発表されそれぞれの御意見や関係住民の希望や意見聴取が行なわれているが、どうも地元住民の一人としてふにおちないような点がある。いろいろの条件でそのようになるだろうと思われるが調査する都度又調査する人によつて汚染度に非常にひらきがあり、又米の許容量の基準についても非常にあいまいなようで、その知識をもたない被害者である地元民は不安を深くし心配するだけでどうしようもないと言っている。その基準は土にはどれだけになると作物を作つてはいけないのか、又米は長期間常食して絶対安全と云われる線はどれだけなのか、又人体に対してもその影響はどうなるのか、それに基因した病気の初期症状はどうなるのか遺伝についてはどうなるのか、カドミウムの全般的な知識といったようなものがほしいと思う県の公害課当りが専門家の意見をまとめたものを作つてほしいと希望する。公害についてはどこでも問題が起きているようであるが事後処理についても企業が責任を持つのが国が処理に当るのか、いずれにしても早急被害者である住民が安心して生活の出来る環境にしてほしいものである。それでないとなればはげしい山村である和泉村が、ますます住みにくい村になって行くおそれがある。

九頭竜ダム観光

写真コンテスト入賞発表

今春五月「ダム周辺の春」と題して第二回観光写真コンテストが行なわれ締切の六月十日までに昨秋行なわれた第一回の二倍近い(一七九点)優秀な作品が寄せられ、大変好評のうちに終った。

そこで去る六月三十日和泉村教育センターにおいて、福井新聞社藤田局長を委員長に同大野支社長、本村助役、農協長、産業観光課長等が作品審査会を行なった結果、二十点が入賞し賞状賞金が入賞者にとどけられた。

- ◎尚入賞者は次のとおりである。
- ◎特選(和泉村長賞) 竹田 貫 福井市 黎明の夢の掛橋
- ◎最優秀(福井新聞社賞) 辻岡高正 鯖江市 春の九頭竜湖
- ◎優秀(和泉村議長、同教育委員会 同観光協会賞) 間 俊之 福井市 九頭竜ダムの春

昭和四十五年度 明るく正しい選挙 宣伝ポスター作品募集

私たちの生活を豊かたのしいものとするには、政治をりつばなものになければなりません。そして、きれいな政治が行なわれるには、選挙が明るく正しく行なわれなければなりません。そこで、心身ともに清く正しい全国の児童、生徒の皆さんに明るく正しい選挙をおしすすめるうえに役立つポスターを応募しています。

- ◎応募規定 (1)内容、明るく正しい選挙をおしすすめることを表わすもの
- (2)応募資格 小学校児童、中学校、高等学校生徒(一人一点自作のもの)

林 正 鯖江市 白馬洞(組写真) 稲田益兵 鯖江市 九頭竜ダム

◎秀作(和泉村商工会長、同森林組合長、同農協長、大野国鉄バス協力会長、福井県カラメラ商組合長賞) 黒崎政治 武生市 楽しい二人

早石 孝 丸岡市 春の九頭竜ダム 尾花継男 和泉村 朝の此の木橋

小原順子 福井市 ダムの二人 吉田正一 鯖江市 記念撮影

◎佳作 黒崎政治 加藤久幸 藤田孝春 小川吉一 岡本建一 笠島栄一 滝沢 貢 北島栄一 菊谷章三 吉田金作 (以上十名)

(3)募集期間 五月十五日～九月五日迄 (4)締切日と提出先 九月五日までに和泉村選挙管理委員会に出して下さい。

(5)色と大きさ 色彩は自由、大きさは四五cm×三〇cm、五五cm×四〇cm

(6)その他 作品のうち右下に都道府県名、学校名、学年、氏名(ふりがな)を必ず書き入れて下さい

(7)賞 文部大臣、自治大臣連名の賞状 および連合会長より副賞

一等 小、中、高 各一名 二等 小、中、高 各二名 三等 小、中、高 各三名

(8)発表 十月中旬

主催 都道府県選挙管理委員会連合会 福井県選挙管理委員会

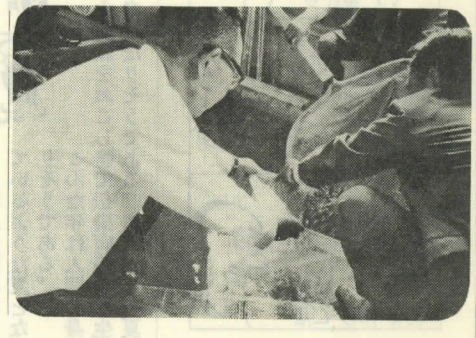
和泉村選挙管理委員会 共催 自治省、文部省 福井県教育委員会 和泉村教育委員会

税の話

税金に関する話はいつも喜ばれる話ではありませんが今月は特に罰則についてお話ししたいと思います。村税の納税義務を有する者が村外に居住する場合は村内に居住する者の中で納税管理人を定めて申告することになつて居ります。この申告を怠ると三万円以下の過料になつて居ります。又個人の村民税の所得申告は毎年三月十五日までに申告書を提出することになつて居り、これを怠つた場合も矢張り三万円以下の過料です。退職手当の支払を受けるときの所得申告を出さぬ場合も同じく過料です。法人の村民税の場合も申告の期日方法は違つても不申告の場合は過料です。償却資産の申告は一月末日で不申告の場合の過料は同じです。その他軽自動車税、電気ガス税、釧産税、木材引取税等夫々申告の期日方法は違つても不申告の場合の過料は同じです。この外罰則ではないけれども、税金を期日に納めず居ると督促状が行きます。それでも尚納めぬ場合は、その遅れた日数に応じ延滞金を加算して財産差押えをする規則になつて居ります。

村議会議員選挙を省り見て

去る七月十二日行なわれた村議会議員選挙を省り見て、私はこんなことを感じた。私が和泉村に居住して五年目やつと生活様式や人間関係等が身に着き、今回の選挙では運動員として働きのすみずみまで歩き目を見て、村財政と住民生活のつり合い、あるいは、村民と職業と言ふ点には特に興味を感じられた。こうした中で選挙運動はなかなかむずかしく、村政にも重大な政策に対するむずかしさがあると思ひました。豊かな財政と折紙が張ら



人のうごき

- 【出生】 朝日 石井昭博 清史 長男 朝日 田中雅幸 清美 長男
- 【婚姻】 朝日 敦賀市元町 泉 巻 治男 米 俵 池尾 知義 愛知豊田市 鈴木 純子 上半原 長谷川 治敏 勝山市村岡町 島田 小夜子 朝日 朝日 誠次 大野市木本 松田 誠次

れた我が村で、林業、観光、鉱山等に大別し生活する村民に村政が浸透して居るだろうか、どうだろうかと期間中私は村民の一人として眺めて見ました。豊かな村民生活は村政に直接たずさわると議員さんの腕にかかっていると申し上げても、決して過言ではないと信じます。非常に関心の高かつた今回の選挙、村民は変り行く和泉村の今日の村政に決して無関心ではありません。その真剣さは、投票率九四、五五%です。新議員さんのご活躍を期待します

「ヒメマス」の放流

奥越漁業組合では去る六月三十日、冷水性漁産稚苗生産センター「川合」において四センチから五センチに成長したヒメマスを、九頭竜ダム「夢の掛橋附近」に九万匹、石徹白ダムに一万匹が放流された。

十月一日 国勢調査が実施

本年十月一日午前零時を期して、全国いつせいに行なわれます。今回は大正九九年に第一回が実施されて以来十一回目(法律「統計法」に基づいて五年ごとに行なわれる)一数えて五〇周年を迎える記念すべき国勢調査です。趣旨 人口に関する最も基本的な調査で、その結果は、国はもろろん都道府県、市町村の行政の基礎資料として欠かせないものであり、詳細な調査結果をできるだけ早く、できるだけ小地域別に明らかにする。又、国際連合の提唱する一九七〇年世界人口センサスの一環でもある。範囲 各人は、ふだん住んでいる場所で調査される。「ふだん住んでいる」という意味は、①その世帯に三ヶ月以上住んでいる。②三ヶ月未満であるが調査日(十月一日)前後を通じて三ヶ月以上住む予定の者、その他方法 ①世帯ごとに調査票に記入してもらおう。②「調査票」の用紙は「調査票の記入例」とともに九月下旬までに各世帯へ配布する。③十月一日から五日までの間に調査員が各世帯を訪問し、記入済みの調査票を回収する。

近年、人口の移動は年々激しくなつてきており、転入や転出の世帯あるいは、留守世帯が多くなつて居ります。正確な統計を作るためには、皆さん一人一人のいろいろな面にわたるご理解とご協力がなくては出来ませんのでよろしくお願い致します。